

教員各位

研究基盤課長

2023（R5）年度採用 日本学術振興会 特別研究員、海外特別研究員 の募集について

標記事業の募集が開始されました。研究室内で申請希望者に周知をお願いします。

1 募集区分・学内締切・募集要項

事業名	学内締切	募集要項・申請書様式の入手先
特別研究員（DC・PD）	5月19日	https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sin.html
特別研究員（RPD）	4月22日	https://www.jsps.go.jp/j-pd/rpd_sin.html
海外特別研究員	4月22日	https://www.jsps.go.jp/j-ab/ab_sin.html
海外特別研究員（RRA）	4月22日	https://www.jsps.go.jp/j-ab/rra_sin.html

2 申請書類の作成・提出

日本学術振興会の電子申請システムにて行います。ログイン用のID・パスワード発行のため、応募希望者は発行申請書を提出してください（※昨年度までに発行されている方は不要です）。

- 電子申請システムログイン用のURL「特別研究員・海外特別研究員共通」
http://www-shinsei.jsps.go.jp/topyousei/top_ken.html
- 申請内容ファイルのPDF化、アップロードの推奨手順
https://www.jsps.go.jp/j-pd/data/boshu/naiyo_torikomi.pdf
- ID・パスワード発行（登録内容変更）申請書「特別研究員・海外特別研究員」

URAによる申請書作成支援

メール・面談にて、申請書の「読みやすさ」「説明の分かりやすさ」について加筆・修正のご提案をいたします。支援をご希望の方は、学内〆切日までに申請書 Word ファイルを URA 部門宛にお送りください。

宛先 ycu_ura@yokohama-cu.ac.jp

*URA（University Research Administrator）とは・・・

研究開発内容について一定の理解を有しつつ、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等をマネージする人材のことです。

3 全募集区分共通の注意事項

- (1) 申請時は日本学術振興会の募集要項、作成要領（または記入例）を必ず確認してください。
- (2) 採用内定時に、研究倫理教育の受講が必要です。APRIN e ラーニングプログラムを受講してください。
PD、RPD、海外特別研究員に応募する方は、以下のページに申込方法が記載されています。
https://www.yokohama-cu.ac.jp/res_pro/outline/kenkyuhi_elearning.html
- (3) 審査は、モノクロ印刷された書類で行われます。印刷時の解像度をご確認ください

4 問い合わせ先

八景・鶴見・舞岡・センター病院：研究費管理担当 三橋・山本 kaken@yokohama-cu.ac.jp

福浦キャンパス・附属病院：医学系研究費管理担当 有賀・坂 fkenkyu@yokohama-cu.ac.jp

URAによる申請書作成支援：URA 部門 ycu_ura@yokohama-cu.ac.jp

特別研究員（DC、PD）

1 採用区分（詳細は、募集要項を必ずご確認ください。基準日はいずれも2023年4月1日時点）

DC1	博士後期課程1年、医学系4年制の博士課程の2年
DC2	博士後期課程2年以上、医学系4年制の博士課程3年以上
PD	博士の学位を取得後5年未満

2 提出書類（電子申請システムで提出）

申請書類の構成	備考
1 申請書情報	電子申請システムで入力
2 申請内容ファイル	日本学術振興会のHPからダウンロードした様式（WORD）で作成し、電子申請システムにアップロード
3 評価書 （電子申請システム上で評価者が作成）	DC：現在の研究指導者、PD申請の場合：2名の評価者 ※PDの評価者2名のうち、1名は採用後の受入研究者、残り1名は応募者の研究をよく理解している研究者としてください。
4 受入研究室選定理由書 （PDに応募する方で、博士課程在学時の研究機関を受入先として選定する場合）	電子申請システムで入力 ①身体の障害、出産、育児等の理由により出身研究機関以外の研究室で研究に従事することが困難な場合 ②研究目的・内容、研究計画等から、出身研究機関以外の研究室に変更することが困難な場合

3 応募における注意事項

- 採用後に研究を行う予定の機関から応募（ただしDC1は、現在在学する大学院又は出身の大学院）
- PDは博士課程での研究の単なる継続ではなく、**研究環境を変えて**博士課程での研究を大きく発展させ、**新たな研究課題に挑戦するため、研究機関の移動が求められています。**

PD 申請資格審査のガイドライン及び過去の申請資格審査状況（必ずご一読ください。）

申請資格審査状況ホームページURL https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sinsa.html

他機関に異動している博士課程時の研究指導者を受入研究者とする場合



研究機関移動には該当せず、**不採用**となります。

応募者の出身研究室の研究者が異動した先で、受入れてもらう場合



実質的な研究機関移動と認められない可能性あり。**認められない場合は不採用**

特別研究員-RPD

1 提出書類（電子申請システムで提出）

申請書類の構成	備考
1 申請書情報	電子申請システム上で入力します。
2 申請内容ファイル	日本学術振興会の HP からダウンロードした様式（WORD）で作成し、電子申請システムにアップロードします。
3 評価書 （電子申請システム上で評価者が作成）	評価書 1：研究中断前の受入研究者、現在の受入研究者、採用後の受入研究者のいずれか 評価書 2：応募者の研究を良く理解している研究者

2 応募における注意事項

- （1）申請は、採用後に特別研究員として研究を行う予定の機関から行ってください。
- （2）PD とは異なり、研究機関の移動は要件にされていませんが、大学院在学時の所属機関以外を受入研究機関とすることが推奨されています。
- （3）申請資格※応募者の年齢、性別は問いません。
 - ① 2023 年 4 月 1 日時点で、博士の学位を取得している（申請時は見込みでも可）
 - ② 出産または疾病や障害のある子を養育したため、2017 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日の間に、3 か月以上研究を中断した方
 - ③ 日本国籍を持つ方、日本に永住を許可されている外国籍の方

海外特別研究員

1 提出書類（電子申請システムで提出）

申請書類の構成	備考
1 申請書情報	電子申請システム上で入力します。
2 申請内容ファイル	日本学術振興会の HP からダウンロードした様式（WORD）で作成し、電子申請システムにアップロードします。
3 評価書	電子申請システム上で入力します（評価者が作成）。 評価者：応募者の研究を良く理解している研究者
4 受入意思確認書	電子申請システム上で入力します（受入研究者が作成）。
5 研究・職歴等別紙	日本学術振興会の HP からダウンロードした様式（WORD）で作成し、電子申請システムにアップロードします。（※申請書情報の「⑬研究・職歴等」に全事項を記載できなかった場合のみ作成）

2 応募における注意事項

- （1）博士の学位取得後の年数制限
2023 年 4 月 1 日時点で博士の学位取得後 5 年未満（申請時には見込みでも可）
- （2）職歴
2023 年 4 月 1 日時点で大学等研究機関の任期の定めのない常勤研究職の職歴が、過去通算して 5 年未満

優れた若手研究者が結婚、出産、育児、看護、介護のライフイベントによる研究中断等の後に、海外の特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援するための制度です。

1 提出書類（6の証明書のみ紙で、その他は電子申請システムで提出。）

申請書類の構成	備考
1 申請書情報	電子申請システム上で入力します。
2 申請内容ファイル	日本学術振興会の HP からダウンロードした様式（WORD）で作成し、電子申請システムにアップロードします。
3 評価書	電子申請システム上で入力します（評価者が作成）。 評価者：応募者の研究を良く理解している研究者
4 受入意思確認書	電子申請システム上で入力します（受入研究者が作成）。
5 研究・職歴等別紙	日本学術振興会の HP からダウンロードした様式（WORD）で作成し、電子申請システムにアップロードします。（※申請書情報の「⑬研究・職歴等」に全事項を記載できなかった場合のみ作成）
6 証明書	①研究中断等の理由を証明する書類、②中断等の期間を証明する書類 具体的な書類については、募集要項の 5～6 ページ参照

2 応募における注意事項

（1）博士の学位取得後の年数制限

2023年4月1日時点で博士の学位を取得後10年未満（申請時は見込でも可）

（2）職歴

2023年4月1日時点で大学等研究機関の任期の定めのない常勤研究職の職歴が、過去通算して5年未満

（3）研究中断状況

以下のいずれかによる研究中断等の期間が通算90日以上

- ① 申請者本人または配偶者の出産または育児
- ② 家族の看護、介護
- ③ 結婚に伴う転居による辞職（辞職時の職が常勤職に限る）